

リパーゼ標準液

1. 調製法

リパーゼ標準品1バイアルに溶解液 3mLを加え、緩やかに転倒混和し、完全に溶解する。溶解後は蓋をしめて2~10℃遮光保存で2週間使用できる。

開封後の溶解液は、蓋をしめて2~10℃遮光保存する。

2. 取り扱い上の注意

1) 腩液製剤の取り扱い

リパーゼ標準品(ヒト腩液)は、HBs抗原、HIV抗体及びHCV抗体陰性であることが確認されているが、患者検体と同様、感染の危険性があるものとして取り扱いには充分注意すること。

2) アジ化ナトリウムを含有する試薬の取り扱い

溶解液には防腐剤としてアジ化ナトリウムが含有されている。アジ化ナトリウムは鉛、銅等と反応して爆発性の高いアジ化金属を形成することがあるので、廃液等は大量の水で流すよう注意すること。

TCS3850



株式会社 カイノス